

ふれあい通信

第386号

令和4年5月1日

発行

社会福祉法人

姫路市社会福祉協議会

姫路市安田三丁目1番地

姫路市総合福祉会館内

TEL 079-222-4212

FAX 079-222-4256

鯉のぼりの歴史

五月晴れの空に悠々と泳ぐ鯉のぼり。

「鯉が水中ではなく空で泳ぐ」、改めて考えると不思議ですね。今回は鯉のぼりの歴史について紹介します。


江戸時代に登場

元々、日本では、武家に



男の子が生まれると家紋のついた旗や幟（のぼり）を立てて祝い、端午の節句にも幟を立て、虫干しを兼ねて鎧や兜（かぶと）を飾る風習がありました。

それに対抗しようと、江戸の裕福な商人たちが考えたのが「鯉の滝登り」が描かれた幟です。これが鯉のぼりの始まりです。鯉は、中国の黄河の上流にある龍門という激流の滝を登って竜になったという「登龍門伝説」があり、日本でも立身出世の象徴となりました。さらに鯉は、生命力が強く、大きく丈夫で、きれいな川以外でも生息出来ることから、強くたくましく育ってほしいという子どもへの

ひとくちメモ 

願いがこめられています。

その後の変遷

江戸時代の鯉のぼりは、子どもを表す黒の真鯉のみでした。明治時代頃から父親が加わって2匹になり、昭和以降には、「父は黒、母は赤、子は青」と3匹になりました。このように家長制度、女性の社会進出など時代背景に影響を受け、変わってきました。

鯉のぼり以外にも注目

鯉と一緒にたなびく吹き

流しは、戦国時代から魔除けの幟として使われており、実は鯉のぼりより歴史は古いのです。そして、鯉のぼりの竿の先に付いている「天球」は、神様へ子どもの誕生を知らせる目印、「矢車」は武将がもつ弓矢のように邪気払いをして魔を滅し、子どもの健康を祈る意味があります。



鯉のぼりは鯉だけでなく、
全てに意味があるんだね！

福祉総合相談

専門ワーカーがさまざまな福祉問題をお聞きし、解決に向けてお手伝いをします。

介護サービス相談

介護保険サービスを利用するための申請から、サービスを利用できるまでを全面的にお手伝いします。

ご相談は・・・
姫路市社会福祉協議会
〒670-0955 姫路市安田三丁目1番地
姫路市総合福祉会館内
フリーダイヤル(受付時間:8:35~17:20)
0120-208-606 (通話料無料)

ケアプラン、ホームヘルパーのご相談・ご依頼は
姫路市社会福祉協議会
すこやか介護支援センター
〒670-0954 姫路市栗山町151-2
フリーダイヤル(受付時間:8:35~17:20)
0120-108-999 (通話料無料)